

# チャペル週報

No.22

2016.11.14 ~ 11.18

あなたがたはそれぞれ賜物を授かっているのですから、  
神のさまざまな恵みの善い管理者として、  
その賜物を生かして互いに仕えなさい。

(ペトロの手紙第一 4章10節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

11月14日(月) 神 キリスト教音楽に触れよう③ 水 野 隆 一 (神学部教授)  
経 「人間を考える⑥」 韓 燕 麗 (経済学部准教授)  
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
理 Macdonald Njala Banda (アジア学院)  
聖和 聖書物語「本当のともだち」

---

11月15日(火) 神 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 宗教総部によるスチューデント・チャペル  
法 Rentta Ngulie (アジア学院)  
経 上ヶ原ハピタット-東日本大震災ボランティア報告-  
商 「最終チャペルトーク」 則 定 隆 男 (商学部教授)  
国 学生活動報告 上ヶ原ハピタット  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 池 上 俊 郎 (総合政策学部教授)  
教 音楽チャペル ゴスペルクワイア"POV"

---

11月16日(水) 神 築 山 直 宏 (神学研究科M1)  
社 一文字シリーズ「響」⑤ Ruth M. Grubel (宣教師)  
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
人 宗教総部  
国 音楽チャペル(3) バロックアンサンブル  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 音楽チャペル 聖歌隊  
教 献血実行委員会

---

11月17日(木) 神 音楽チャペル トーンチャイム隊  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 音楽チャペル バロックアンサンブル  
法 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
商 宗教総部  
国 Chapel in English Edward Hearn (国際学部准教授)  
総 Rentta Ngulie (アジア学院卒業生・牧師)  
聖和 施設実習・児童館実習を終えて

---

11月18日(金) 神 大仁田 拓 朗 (日本基督教団鈴蘭台教会牧師)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)  
人 上ヶ原ハピタット  
院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
理 前 川 裕 (宗教主事)

---

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
11月18日(金) 災害復興支援制度研究所のために 長 岡 徹 (災害復興支援制度研究所長)

---

# 「違い」を伝える

柳澤田実

多様性が生み出す創造性や生産性は、生物学やコミュニケーション論など様々な分野で唱えられています。画一的であるよりも多様であるほうがよい、という考えはしばしば学生の口からも聞かれますので、同調圧力が強い日本の社会にもこうした多様性の思想は根を下ろしつつあるかもしれません。とはいえ実際に多様性が創造性に繋がる現象が実現しているかという点、まだまだやるべきことは沢山残されているように思います。多様性を維持するためには、個々の「違い／差異」を際立たせ、大切にする必要があります。単に反論するのでも同意するのでもなく、多くの価値観がそのまま担保される状況を作ること。このことは、少なくとも私にはまだまだ難しく、私生活においても、研究や教育においても、最近の中心的テーマになっています。

オープンダイアログ（以下OPD）という精神療法があります。フィンランドの西ラップランド地方発のこの精神療法は、主に統合失調症の患者さんのために編み出されたグループ療法で、家族を中心とした患者さんのソーシャル・ネットワークを利用し、発症時から連続的に同じメンバーで対話を行います。この対話のなかで重視されていることもまた多様性で、文学者U.バフチンが唱えた「多声性（ポリフォニー）」が療法全体を支える重要な指針になっています。今年の5月にOPDの指導者であるY.セイックラさんを迎えてのワークショップに参加する機会がありました。このワークショップでは、実際に患者さんを囲んでのセッションを傍聴する機会をいただけたのですが、話し手の言うことに共感しつつも、はっきりと異論を伝えるセイックラさんの態度は極めて印象深いものでした。話し手の話をその話し手のリアリティとして受容しつつも、「私の視点」からは違って見えるということ伝える。自己と他者の切り分けはセッションを通じ慎重に維持されていました。

現在、私は同僚の牧会カウンセリングをご専門とする榎本てる子先生の授業に参加させていただき、また自身の大学院の授業でOPDのテキストを哲学・思想的観点から読みながら、この問題について考え続けています。「違い／差異」を伝えることで生まれる余白。実践と理論を往復しながら、この余白に言葉を与えてみたいと考えています。

(神学部准教授)

## ●大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405号教室)

11月主題:「宗教改革」を覚えて

11月17日 舟木 讓(宗教総主事)

11月24日 山本 俊正(商学部宗教主事)

## ●オルガン音楽の泉 2016 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第15回 11月15日(火) 北村 あゆ美(ドイツ・ハンブルグ在住、Ev.Hoisbüttel Gemeindeオルガニスト)  
第16回 11月25日(金) 坂倉 朗 子(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

## ●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月21日(月)「分かち合うチャペル」

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)10:35～11:05

\*ランバスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。

## ●冬の献血週間のお知らせ<西宮上ヶ原キャンパス>

宗教総部献血実行委員会では、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間:11月28日(月)～12月2日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

## ●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第4回 12月1日(木)18:30～20:00

第5回 1月12日(木)18:30～20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

## ●第206回ランバス演奏会「アヴェ・マリア」

古今東西のアヴェ・マリア、アマリリ麗し／カッチーニ、アリアと変奏／フレスコバルディ、ほか  
平井満実子／歌 佐野健二／リュート

と き:12月8日(木)17:00開演 18:10終演予定

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

## ●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時:12月22日(木)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

会 場:ザ・シンフォニーホール

参加費(入場料):2,000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:10月17日より下記にてお求めください。

関西学院大学生協(tel.0798-53-5150)

チケットぴあ Pコード 311-006

ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内)

サークルKサンクス／ファミリーマート

お問合せ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

主 催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会